

第5回法人合同研修報告
(記録・評価から保育を高めるために)

島田福祉会では職員の学習意欲と機会を数多く保障し、職員の資質向上に努めてまいりましたが、更に法人全体での職員教育の充実を図るため、2014年度より「法人合同研修」を開始いたしました。6月25日に行われた第5回目は、豊富な乳児保育実践に基づくご指導に定評のある今井和子先生をお招きいたしました。

2016年9月 増刊第13号

社会福祉法人 島田福祉会

発行人：藤田知恵

法人事務所 大田区大森北 3-3-5

電話・FAX 3763-1728・3763-1729

http://www5.famille.ne.jp/~shfk136/

E-Mail:bigforest1-3-6@neo.famille.ne.jp



今井先生は20年以上に亘って世田谷区と川崎市などの保育所に勤務される中で、『子どものことば』『自我の育ち』『質の高い乳幼児保育の実践と子育て支援』などを柱とした実践研究を積み重ねていらっしゃいました。その後、十文字学園女子短期大学、東京成徳大学子ども学部教授、立教女学院短期大学幼児教育科教授等を歴任され、現在は子どもことば研究会、質の高い乳児保育を目指す実践研究会の代表等を勤められる傍ら、研修や講座の講師として、全国の保育者の指導にあたっていらっしゃいます。法人職員も、「子どもの文化学校」やその他外部研修でご指導をいただく機会が多く、今回の開催への期待感も大きかったです。今回は先生の数多い研究テーマの中から、記録の重要性についてのお話をうかがいました。



職員会を切り上げての参加とい

「ちょっと話し合ってみて下さい」

うことで、やや疲れも見られた職員達ですが、今井先生の保育者として、また研究者・指導者としての長年の実践の中で高められてきた、保育へのお気持ちが込められた言葉が心に流れ込んでいくことで、活気を取り戻していく感じが感じられました。今回の学びが、今後の運営の中でどのように活かされていくかが楽しみです。

「今回学んだことを、今後の業務にどう生かしていこうと思いますか？」

(★は島田、☆は駅前、★は北六丁目、★は北嶺町、★は北嶺町第二)

- ★指導計画、日誌等の記録を読む時、今回の研修内容を再確認しながら読む。(研修内容が反映できれば、保育の対応も充実できる)(園長・主任・副主任)
- ★何のために記録を書くのかということ全員で学ぶことができたので、書式の見直しもしていきたい。また、記録から読み取れる子どもの育ちについて助言ができるようにしていきたい。(園長・主任・副主任)
- ★日々の日誌に役立てたいと思います。私は視点を定めておらず、様々なことを書いていました。その日保育に関わっていない人が読んでイメージが浮かんでくるように、今井先生から学んだ4つのポイントをしっかりと押さえ、生かしていきたいと考えています。(保育士・新人)
- ★記録を書く時、「なぜ」と理由を考えることを常に意識していきたい。そして何を伝えたいのかを考えてから書くようにしていきたい、日々の保育に役立つような記録にしていきたい。(保育士・新人)
- ★その場にはいない人にもその子の姿が思い浮かぶような記録を具体的に記入できるよう、日々子どもと関わりたいと思います。(保育士・経験者)
- ★「見る」と「観る」を日々の保育の中で使い分け、誰が読んで子ども姿やその場の風景が浮かぶ記録を書けるようにしたい。(保育士・経験者)
- ★保育中、子どもの行動に常に疑問を持ち、子どもの本当の願いを捉えられるようにしていこうと思った。そして、気持ちを読み取り、その子の葛藤を支え、子ども達の自己肯定感を育てていけるようにする。(保育士・経験者)
- ★「保育者は裁判官になるのではなく解説者になる」という言葉を常に心に置いて日々の保育をし、保育日誌を書く際は、①子どもの様子、②保育士の関わり ③評価 に気をつけて書くようにします。(保育士・経験者)
- ★葛藤を支えていくことが大人の役割という点で、葛藤し、混乱している子どもが乗り越えていくという経験を繰り返してできるような環境や、受け止める場所を作り続けていけたらよいと思う。(保育士・経験者)
- ★園とは記入の仕方が違うところもあったので確認をする。今は書類の記入にとっても時間がかかってしまう。思い出しながら記入をすることも大切だが、もうすこし短縮をすることで時間を有効に使うことができるので、伝わりやすい内容を、短い時間で記入できるようにする。(保育士・経験者)
- ★「声かけをした」「援助をした」という表現はよく使うが、具体的に何をしたのかを記載しないことが多かったため、まずはその点を具体的にすることから始めていきたい。(保育士・経験者)
- ★記録の取り方は、たくさんの情報を記入することがよいことのように思われがちですが、一つのエピソードについて関わりを含めた記録をすることも心がけていきたいと思いました。また、一人の子どもをじっくりと追って観察する(視点を変えた)保育も取り入れたいと思いました。(保育士・経験者)
- ★保育への直接参加はありませんが、給食日誌の残食の記載などについて、ただ「残った」ではなく、「気温が高く食が進まないようだった」など、詳細を書いていきたいと思いました。(栄養士・調理員)
- ★食育の時に、子ども達の訴えが分かりづらい時など、言っていることを聞くだけでなく、目に見えないものを観る努力をしていこうと思った。(栄養士・調理員)
- ★乳児に関わるが多いため、問題行動としてみていた子ども達の様子を、子どものSOSやメッセージとしてとらえ、ポジティブな課題として前向きにとらえる。そして保育の工夫につなげていきたいと考えます。(看護師)